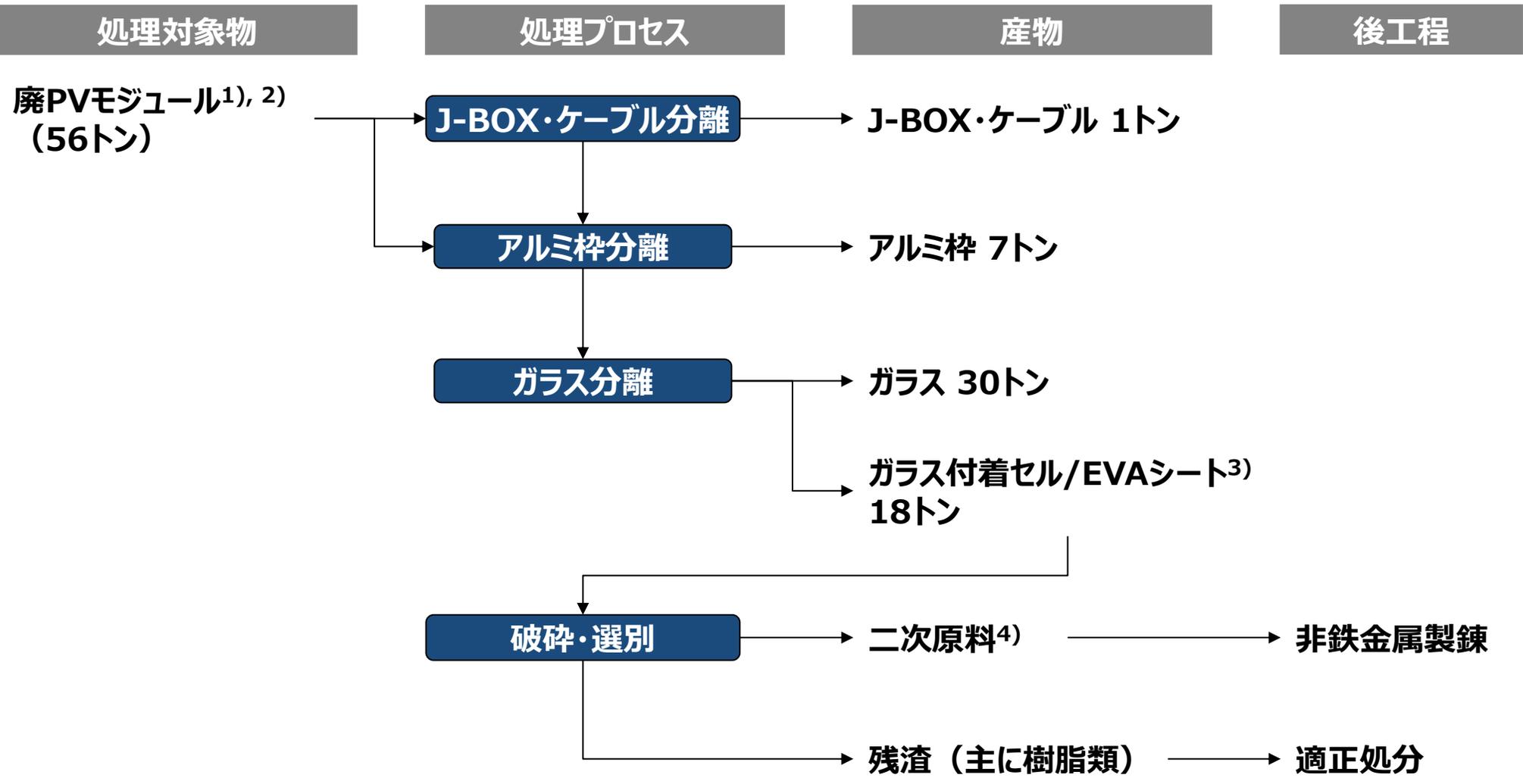


- 要約
 - ✓ PVCJは、計7社のPVパネルのリサイクラーを、ルート施設として認定している。
 - ✓ 2023年度、ルート施設全体で計56トンの廃PVモジュールのリサイクル処理を完了した。
 - ✓ リサイクル処理の結果、以下の二次資源を廃PVモジュールから回収した。
 - J-BOX・ケーブル：1トン
 - アルミ枠：7トン
 - ガラス：30トン
 - ガラス付着セル/EVAシート^(注1)：18トン
 - ✓ ガラス付着セル/EVAシートは更に破碎・選別を行い、選別後の二次資源については、非鉄金属製錬で有害物質・有価金属の回収を行うとともに、残渣（主に樹脂類）については適正処理を行っている。

- 集計方法
 - ✓ 集計対象の期間
 - 2023年4月1日から2024年3月31日
 - ✓ 集計対象のPVCJ認定ルート施設 6社（五十音順）
 - エコシステム花岡(株)、金城産業(株)、(株)白川商店、(株)信州タケエイ、(株)モリヤ、リサイクルテック・ジャパン(株)

- その他
 - ✓ 環境省の調査によると、約2,000トン/年の廃PVモジュールが国内でリサイクル処理されている。PVCJ認定ルート施設は、国内の廃PVモジュールのリサイクル処理量の2～3パーセントをカバーしていると推測される。
 - ✓ 2023年度、リサイクル処理とは別に、計204枚の廃PVモジュールのリユース検査をPVCJルート施設で行い、検査後、計74枚のPVモジュールが再利用先に出荷している。

PV CYCLE JAPAN認定ルート施設での廃PVモジュールの処理実績



1) 2023年度内に処理が完了した廃PVモジュールを集計対象としている。
2) リサイクル処理とは別に、PVCルート施設では、計204枚の使用済太陽光パネルのリユース検査を行い、計76枚の太陽光パネルを再利用先に出荷した。
3) PVモジュールからJ-BOX・ケーブル、アルミ枠、一定程度のガラスを除去した後に残る物を、「セル/EVAシート」と呼称している。有害物質の鉛を含有する。
4) 結晶シリコン、銅、銀、鉛、およびスズを含む。

